

生きているマンガン鉱床

オンネトー湯の滝の環境は、約 30 億年前の地球で起こった出来事の縮図です。この滝の繊細な生態系は、天然の金属資源がどう形成されたか、酸素に富む地球の大気がどう作られたかを、私たちに見せてくれます。

稀少な諸条件の重なり

ポンマチネシリの噴火から形成された湯の滝溶岩流では、温かい湧水、マンガンイオン、シアノバクテリア、マンガン酸化細菌という要素が珍しく同時に存在しています。このように、オンネトー湯の滝は、マンガン酸化物の自然な生成を地上で目撃するという、きわめて稀少な機会を提供しているのです。

繊細な環境

オンネトー湯の滝の遊歩道は、駐車場と滝を結んでおり、約 2,000 年前の阿寒富士の噴火によって作られた溶岩原の上を通っています。遊歩道の最後の 200m は、阿寒富士の溶岩流の斜面に沿って、急な登り坂になっています。奇跡的に、湯の滝の溶岩流は、阿寒富士の噴火から生じた溶岩によって覆われることはありませんでした。

日本の天然記念物

オンネトー湯の滝は、稀少な自然現象を見せてくれる「天然の実験室」のようなものです。そのため、この滝を未来の世代に向けて保存することはとても重要です。オンネトー湯の滝は、2000 年に日本の天然記念物に指定され、日本政府から特別な保護を受けています。